

＜アルバイトにおける生活環境の違い＞  
佐藤啓成 (22011146ks@tama.ac.jp)

## 1. はじめに

研究の背景として、アルバイトという学生の9割が経験するツールであり、アルバイトによってお金をすごく稼ぐ人もいれば、少ししかシフトに入らない人もいます。収入は人それぞれ異なるが、それは何故なのだろうか。

研究の目的として研究の背景の末に、大学生はどのくらいアルバイトをしているのか、また自らが働いたお金をどのような使い方をするのか、自分の今の収入で満足しているのか、親からの支援で生活しているのか、本当に必要でその収入を稼いでいるのか明らかにしていきたい。

## 2. 先行研究の分析

・アルバイトで得た習得スキルは、学生・企業側の両方から見ても社会人になって役立つという調査がある。

・1週間の深夜平均勤務時間は16.2時間。

・1か月の平均勤務日数は深夜で7.9日。

・平均睡眠時間は、アルバイト就労有無関わらず約6時間程。

## 4. 今後の課題とスケジュール

夏休み中にアンケートを取り、集計を行いそこから分析を行う。

参考文献

[66\\_14.pdf \(jst.go.jp\)](#)

[jsi.16 \(jst.go.jp\)](#)

## 3. 研究方法

アンケート(大学生)

資料調査